



和と力

1月号

売布小学校
ホームページへ

令和8年(2026年) 1月 7日

宝塚市立売布小学校



瑞光祥春

校長 藤山 昌生



新たな年を迎える。今年は「午年(うまどし)」です。古来より、馬は「俊敏」「進取」「躍動」の象徴とされ、人々の暮らしを支える大切な存在でした。まっすぐに前を見据えて力強く駆け抜ける姿は、私たちに“今、この一步を大切にし、未来へ向かって前進すること”的重要性を教えてくれます。

本校の子どもたちも、昨年一年間、多くの学びに挑戦し、仲間との関わりを深めながら、それぞれの成長を積み重ねてきました。その姿はまさに、着実に歩みを進める“学びの名馬”的な姿で、日々大きな力を感じさせてくれます。午年の今年は、「自分の可能性へ、もう一步踏み出す年」にしていきたいと思います。たとえ小さな一歩でも、それを積み重ねることで、確かな道が拓けます。

1月は、阪神・淡路大震災を今一度思い起こし、防災への意識を新たにする月です。発生から30年という節目を昨年迎えましたが、今年は31年目となり、あの日の教訓は今も私たちの地域に深く息づいています。変わらぬ真剣さで受け継いでいく必要があります。昨年12月には「青森県東方沖地震」が発生し、津波警報も発令されたことから、東日本大震災の記憶がよみがえりました。地震被害を受けた地域では、依然として以前の生活環境にすべてが戻ることは難しい状況ですが、1日も早く穏やかな生活に戻れるよう、心より願っております。

地域では、自主防災組織を中心とした訓練や避難所運営のシミュレーション、高齢者や子どもへの見守り活動など、日頃から多様な防災活動が行われています。こうした取り組みの積み重ねは、災害時に命を守る地域力を高めるだけでなく、子どもたちが「地域に支えられている」と実感できる貴重な学びにもつながっています。今年度の宝塚市総合防災訓練(避難所運営訓練)は、売布小学校区まちづくり協議会との共催で、本校を会場として2月15日(日)に実施されます。本校としても、地域との連携を大切にしながら、安全指導や避難訓練を粘り強く続け、「自ら考え、判断し、行動できる力」を育んでいきます。一人ひとりが防災を自分ごととして捉え、安心して暮らせる地域を共につくっていきたいと思います。



昨年7月、9月には、本校卒業生の学校キャラクター制作にかかるアンケートにご協力いただきありがとうございました。この度、「めふしば」を学校キャラクターとさせていただくことになりました。これから、いろいろな場面で「めふしば」が登場すると思います。末長くかわいがっていただけると嬉しく思います。

好奇心と知識欲がとっても旺盛な黒い柴犬の「めふしば」です。今まで学んだことは後ろの「ふくろ」に入れていて、その袋を使って勉強に悩むみんなを助けてくれます。

そして、売布小学校のみんなとこれからたくさんのこと学びたいとも思っています。

めふしばがっこ
Mefu Elementary School